

ユーザー事例から考える、
企業におけるクラウド時代の
データドリブンの進め方

クラウド技術の普及に並び、今企業にはデータドリブンの意思決定が求められています。今回、WebFOCUS Dayの各セッションを通し、企業が如何にしてデータを駆使し競争力を高めているのか、その鍵に迫りました。

イベント後アンケート

約70%

の来場者の方に
ご満足の回答を頂きました！

セッション
1DX × クラウド時代だからこそ求められる
オペレーショナルBIプラットフォーム WebFOCUSインタビュー:株式会社石垣 様
事例ご紹介:アクアクララ株式会社 様

石垣様・アクアクララ様ともに、インフラやデータ基盤はクラウドに移行しつつも、BIについては細やかなユーザー要件と製品コンセプトのマッチングを重視されたお話を、具体的なエピソードやインタビューを交えてご紹介させていただきました。これからクラウド移行を検討される方々の検討ポイントのヒントになったはずです。

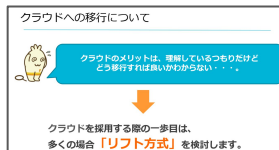


株式会社石垣 企画推進部 情報システム課課長
中村 晋 様

セッション
2初めてのAWS移行:
クラウドリフトの基本と
検討ポイント

セッション概要

AWSを採用するにあたって、最初に検討するのがリフト方式移行です。「AWSを利用するにあたり、何故最初に検討すべき移行方式がリフト方式なのか?」といったAWSリフトの基本をご紹介し、リフト方式での移行における検討内容及び検討ポイントについて解説しました。



来場者の方のお声

「活用事例・システム設計・データ活用推進の3軸でご説明いただき、WebFOCUSに関して多角的な視点で活用イメージを描きやすかったです。」
「BI初心者です。データ活用の事例が聞きたく参加しました。活用事例やクラウド化の動向を知ることができ、大変勉強になりました。」

セッション
3データ活用の壁を"共に"超える
アシスト伴走型支援の
全容を知る

セッション概要

長年アシストでは、ソフトウェアを使いこなしていただくために伴走型支援もご提供してきました。企業でデータドリブン、DXが計画される中で、それを超えるため実施している「超AX支援」を中心にご紹介しました。超AX支援では、情報システム部だけでなく現場メンバーにも参加いただき、画面を作成していきます。現場にこそデータドリブンが必要になった今、この支援をきっかけにしてDXを進めていきましょう！

